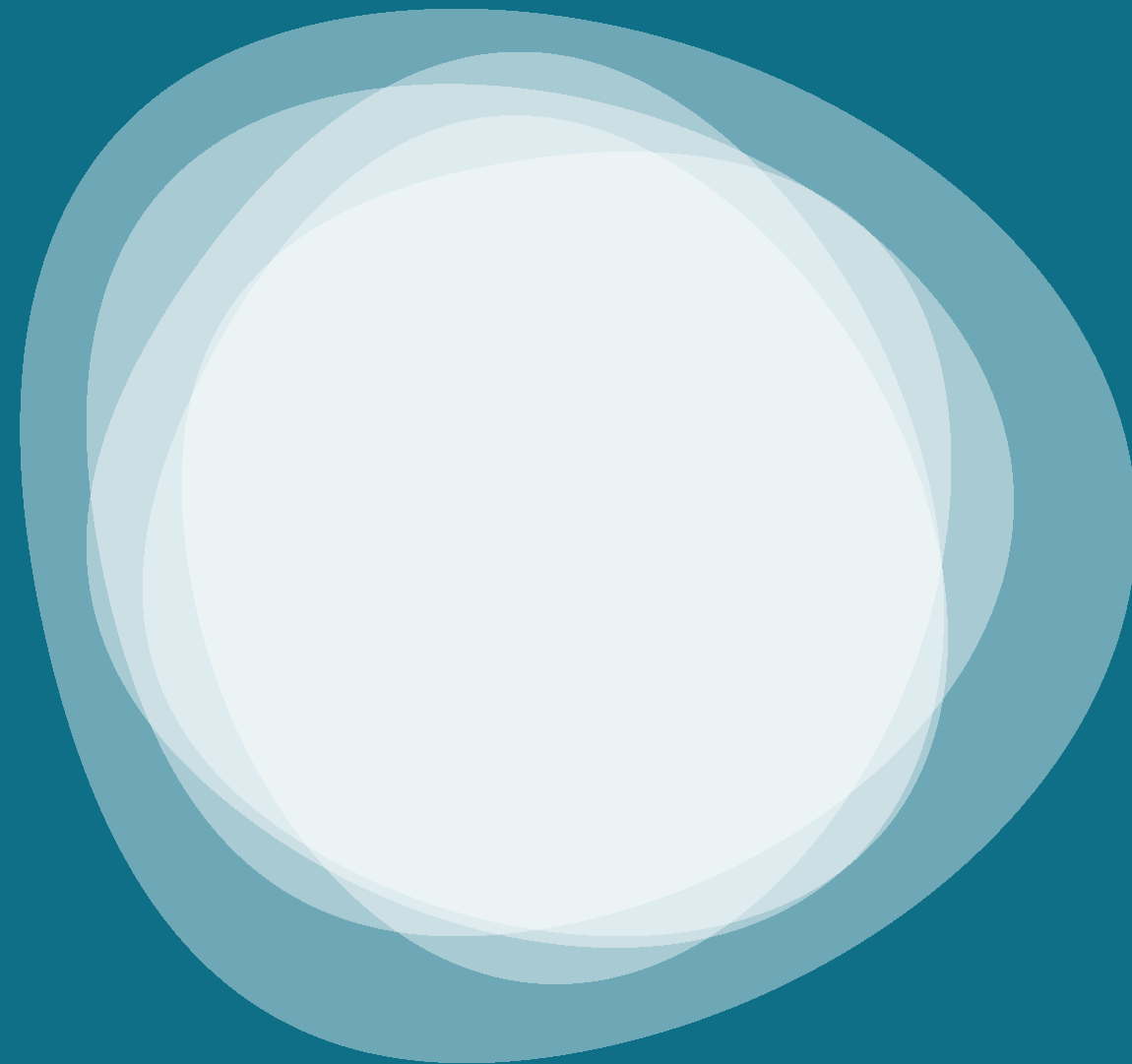


【Sound One Recorder】

活用のご提案 設備編

※アプリはApp Store で 無料配信中！



1. 会社紹介

会社名	株式会社 Sound One
所在地	神奈川県横浜市緑区白山1-16-1 (2024年4月15日~)
代表者	代表取締役社長 葛西 功
設立	2022年8月30日
事業内容	Web・スマホアプリケーション及びWebコンテンツの提供 ↳Webアプリ「Sound One」、スマホアプリ「Sound One Recorder」
資本金	9,000万円
関連会社	株式会社小野測器(100%出資)

Sound One (2023~) および音の主観評価技術 (2012~) の実績
業務委託：自動車 (多数) ,事務機器 (プリンタ) ,精密機器 (カメラ) 楽器 (ドラム)
食品 (天ぷら、菓子) ,化粧品 (容器) ,ガス (バスユニット内) 他
ライセンス：自動車、自動車部品、ロボット、楽器など製造業、大学他
論文発表：Inter-Noise,音響学会、騒音制御工学会、自動車技術会で多数

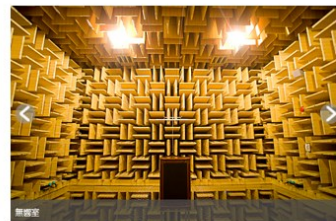
Sound Oneの使用先:

トヨタ・マツダ・本田技研工業・川崎重工・タカギ・三菱自動車・マジェスティゴルフ・積水化学・パイロット・ワコム・TDK・ロッテ・リンナイ・次世代音振盤研究会(INVITE)
デンソー・パナソニック・SONY・各大学・サンデン・プライムアースEVEナジー・パナソニックオートモーティブズ(敬称略)

【小野測器グループ】



【横浜テクニカルセンター】



【音響棟】音のコンサルティング部門



【宇都宮事業所】



マイクロホン開発部門
ソフト開発部門



【オートモーティブテストングラボ】



【ドライブシャフト試験室】



【環境対応シャシーダイナモ】



【オフショア開発】

小野測器は自動車開発・実験装置、NV計測機器の製造メーカーです。
そこで長年培った音響技術とクラウド、ソフトウェア技術を集約し、
新規事業を行うため、【株式会社Sound One】は、2023年に起業しました。

2. Sound One からのソリューション提案（設備機器）

設備における「異音クレーム」の解決を促す【Sound One Recorder】のご紹介です。本プレゼンテーションでは、設備メーカー、設備管理会社の皆様に向けて、クレーム対応の効率化と顧客満足度向上を実現するソリューションをご提案いたします。



【再現困難な「異音クレーム」の記録】

設備から聞こえる異音をユーザーがサプライヤに口頭で伝えることが難しいシーンで、現場の音をすぐに記録します。

【事前の情報共有による迅速対応】

「異音の音データ」を関係者間で共有することで、的確な準備と効率的な対応が可能になります。



現場の状況をそのまま記録

音だけでなく、映像・GPS位置情報も1つのファイルに記録できるため、音が発生した時間・場所・状況を包括的に把握でき、原因特定の精度が大幅に向上します。

3. 訴求ポイント

■ 異音クレームの現状課題

- ユーザーからの異音問い合わせは口頭で擬音表現に頼った説明が多い
- 窓口担当者が実際の音の性質や発生状況を正確に把握できない
- 関係者同士の情報共有に齟齬が生じやすい



■ 設備業者・設備管理会社様のメリット

- 音を事前に把握し、訪問・調査の効率アップ
- スマホのみで収録でき、専門の収録機器が不要
- 現場での異音を正確に記録し製品改善に活用

■ ユーザー様のメリット

- 窓口担当者に音・映像・位置情報で正確に伝達可能
- 「分かってもらえない」不満の解消
- 精神的・時間的負担の軽減

4. Sound One Recorder (iPhone用)

※新機能は予告なく変更される事があります。

<https://soundone.jp/recorder-app>

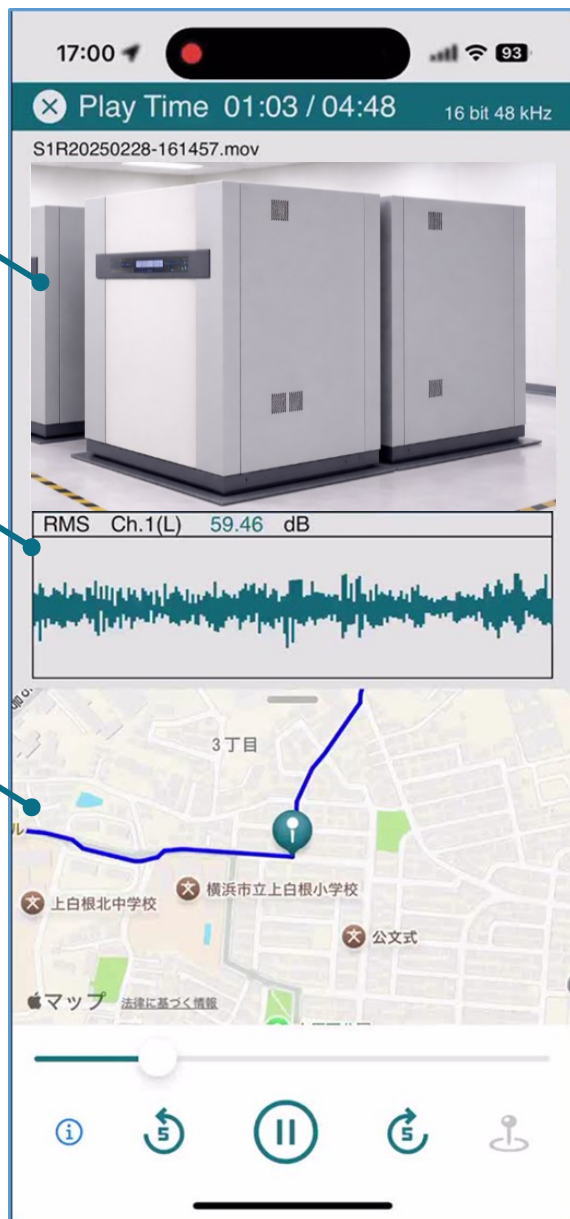
広角でクリアな
映像を記録

ノイズキャンセリング
機能解除・固定レンジ

非圧縮で音声を記録

GPS情報から収録場所
を記録

- ①簡単操作で音と映像が収録できます。
- ②その場で再生して確認できます。
- ③FFT(周波数解析)が可能です
- ④GPSによる位置情報が記録できます。
- ⑤収録データをクラウドにアップロードする事で情報共有・データベース化が可能です。



※Ver. 6 新機能 (2月リリース予定)

2つのメモ機能

- ①音声でメモ入力
- ②収録した映像からテキスト情報を
タップしてコピペ入力

音声入力でファイルにメモを記録

OCR機能で画像内の文字を選択、
コピペでメモを記録



5. Webアプリ【Sound One】との連携:音・映像・位置情報・OCR情報の統合管理

Webブラウザからログインして利用できる「Sound One」に収録したデータ(音・映像・位置情報・テキスト)をクラウドにアップロードすれば、

映像、音の波形、マップを同期しながら異音が発生した際の状況をサーチ、分析ができます。OCRで読みとった設備の機器情報(製造番号等)も一括で保存され、協力会社との情報共有がスムーズに。



多種のデータを1つのファイルに一括で保存。取り扱いが簡単に！

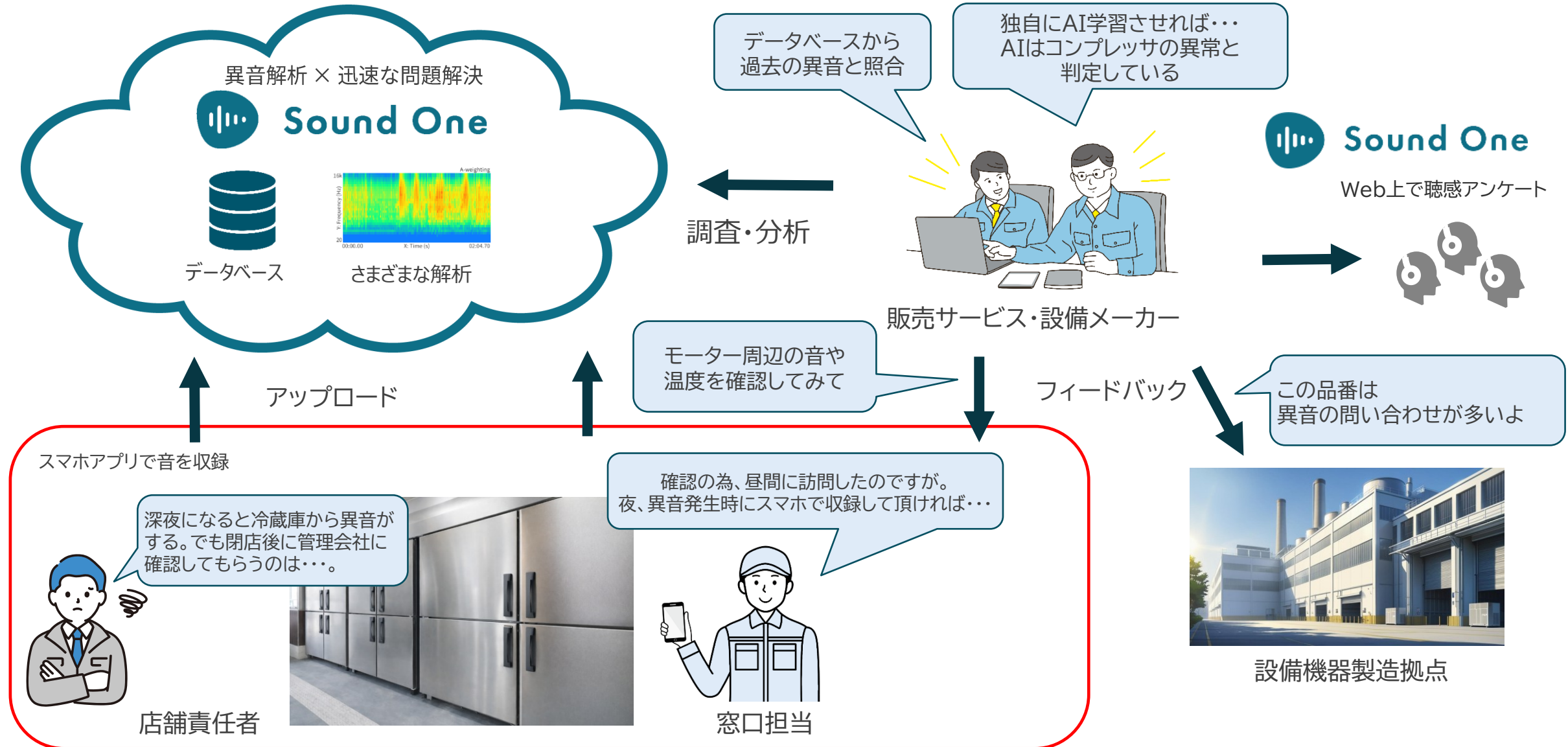
映像から機番等がわかります。(OCR読み取り機能)

データを収録した場所が一目でわかります。

音を周波数で解析し、気になる音の特長を抽出

6. クラウドサービス利用による企業間連携

将来構想
(ユーザー・販売店・メーカー間の連携)



7. 期待できる効果

多角的な情報（音・映像・位置・シリアル番号）を同時収録することで、トラブル原因の早期特定が可能になり、設備利用者・設備提供者さま双方の負担軽減と対応効率の向上が実現します。また、専門の収録機器やその使用方法を習得させる教育コストの削減により、導入障壁が低下し、設備メーカーさまとの連携強化によって問題解決のスピードと精度が向上します。さらに、現地で記録したデータは、製品改善や再発防止に向けた開発へのフィードバックが可能になります。

- 50%

訪問回数削減

事前の音声データ共有により、再訪問が減少し、現場対応時間も大幅に短縮されます。

- 30%

対応時間短縮

原因特定が迅速化し、トラブル解決までの時間が短縮されます。

+ 85%

顧客満足度向上

正確な情報共有と迅速な対応により、住民の満足度が向上します。

【Sound One Recorder】
App Store で 無料配信中！

